



国際ダークスカイ協会 東京支部 (IDA 東京) 事務局
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経営学部第 57 研究室
Fax: 03-3945-7477 Mail: ochi (at) idatokyo (dot) org

プレスリリース カテゴリー【環境・天文】

報道関係者各位

2018 年 1 月 6 日

「夜空の明るさ世界同時観察キャンペーン」が 1 月 6 日から開始

ひかりがい
光害問題を啓発、環境省の星空観察推進事業とも連携

13 年目を迎える “GLOBE at Night” (グローブ・アット・ナイト)

無駄な人工光を減らし、夜空に星の輝きを — 世界中で一般市民が星の見え方を観察・ウェブで報告し、夜空の明るさ世界マップを作ろうというキャンペーン “GLOBE at Night” が、1 月 6 日から始まります。アメリカ国立光学天文台・国際ダークスカイ協会らが実施する本キャンペーンは、今年で 13 年目を迎えると共に、環境省の星空観察推進事業とも連携が開始されました*。日本国内では国際ダークスカイ協会東京支部 (IDA 東京) が日本語サイトの運営・プロモーションを担当しています。

※ 環境省 H29.12.11 報道発表資料「冬の星空を観察してみませんか」
<http://www.env.go.jp/press/104906.html>

星を見えにくくし、生態系や人体にも悪影響を及ぼす光害

人工照明により夜空が明るく照らされる「光害」により、都市部では美しい星空を見ることができません。また、無駄な照明はエネルギーの浪費であると同時に、夜間の照明が生態系の破壊や人体への悪影響にも繋がっていることが指摘されています。

世界中から 1 万 5 千件以上の報告があるシズンサイエンス・プロジェクト

光害問題の啓発と、星空保護・地球環境保護の意識向上を目指した本キャンペーンは、一般の方からの観察報告を募集しています。決められた日時に屋外に出て夜空を眺め、対象星座周辺の星の見え方(どれだけ多くの星が見えるか)が、用意された 8 枚の星図のどれに一番近いかを、スマホやパソコンで報告します。昨年は世界 106 ヶ国から計 15,300 件超の観察報告が集まりました。今年も観察期間は 1~12 月の毎月、月明かりの影響のない 10 日間ずつが設定されています。1 月は 6~15 日で、オリオン座が観察対象です(北緯 40 度以上の地域では、おうし座でも報告可能)。

GLOBE at Night 日本語ウェブサイトは <http://idatokyo.org/gan/>

国際ダークスカイ協会 (IDA)、IDA 東京とは

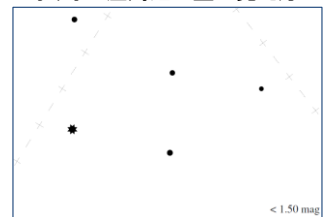
国際ダークスカイ協会は、人工照明による光害問題に取り組む NPO 団体です。その東京支部(略称 IDA 東京、代表: 東洋大学経営学部准教授 越智信彰)は、2013 年 1 月に開設されました。環境分野・照明分野・天文分野等の専門家が集まり、光害を抑え省エネにも配慮した良好な光環境の形成を目指し活動しています。 <http://idatokyo.org>

本件に関するお問い合わせ先

国際ダークスカイ協会 東京支部 事務局 (担当: 越智信彰 (おちのぶあき))
FAX: 03-3945-7477 E-mail: ochi (at) idatokyo (dot) org



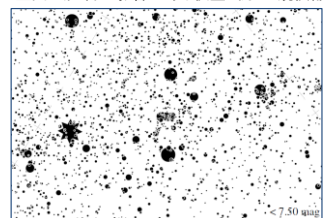
オリオン座周辺の星の見え方



星図1 (光害の影響が大きい夜空 例: 大都市)



星図4 (光害の影響がある夜空 例: 小規模都市)



星図7 (光害の影響がない夜空 例: 離島)